

scc i の使い方



目次

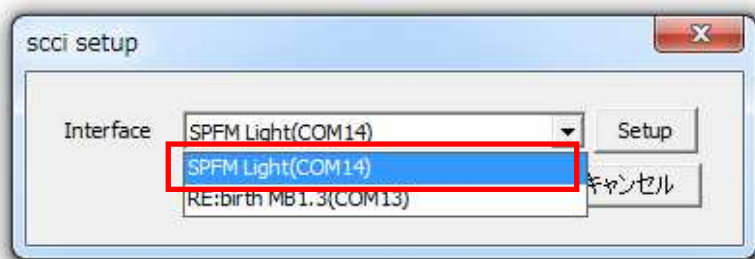
1. モジュールの設定
2. scciの使い方
3. 遅延時間の設定
4. SCCI Dispの表示

1. モジュールの設定(1／4)

- scciを利用する場合、scci付属のscciconfig.exeを起動し各インターフェースに搭載されているモジュールを設定する必要があります。※
- 設定された内容は、scci.iniファイルとして保存されます。

※SPFM ～FMの塔～は搭載されている音源が固定のため
モジュール設定は不要です。

1. モジュールの設定(2/4)

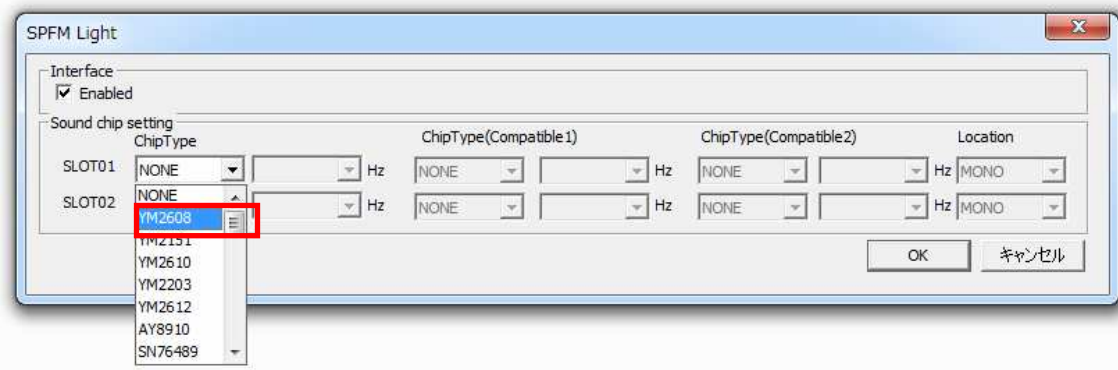


①インターフェースを選択します。

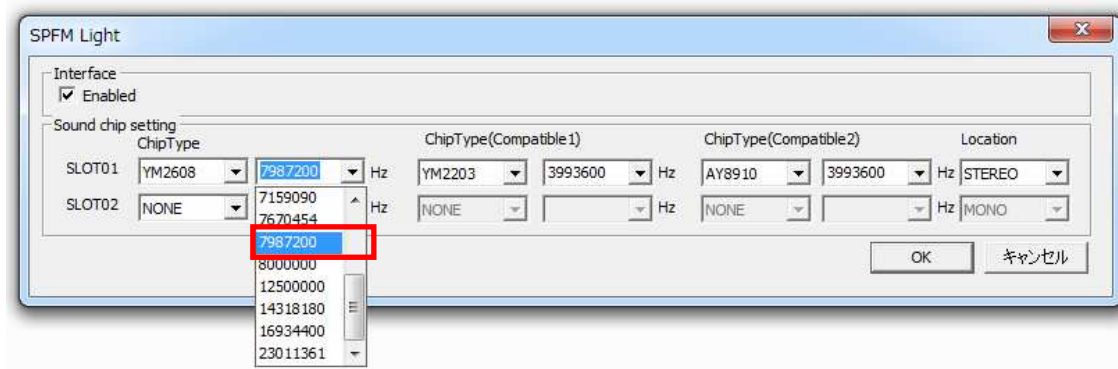


②Setupボタンを押下します。

1. モジュールの設定(3／4)



③モジュールを選択します。

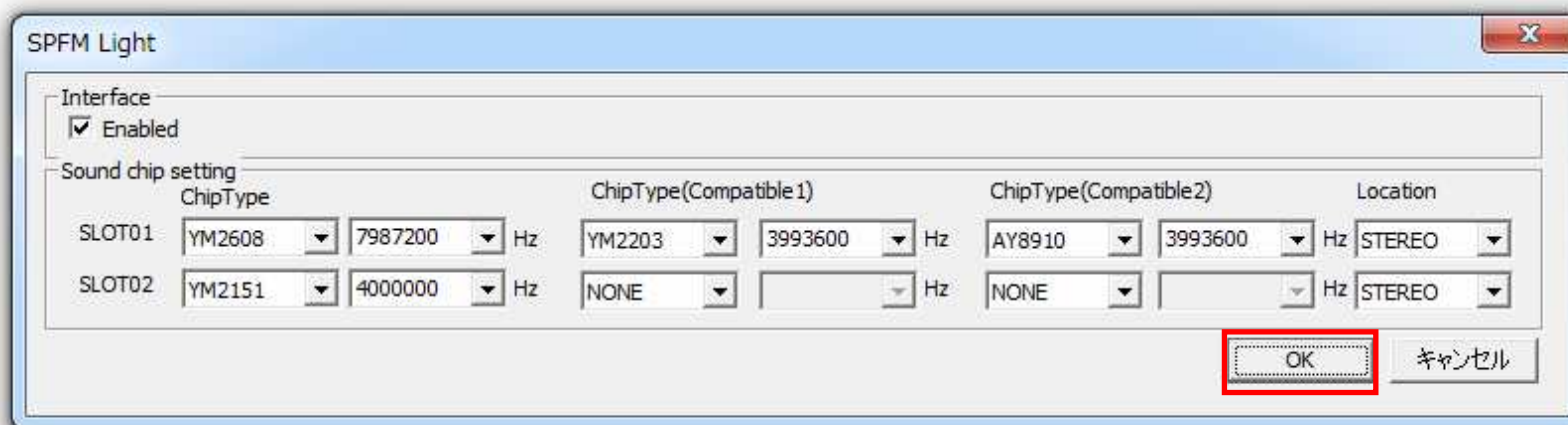


④モジュールのクロックを設定します。※

※モジュールのクロックは選択及び手入が力可能です。
特殊なクロックを利用している場合は、手入力してください。

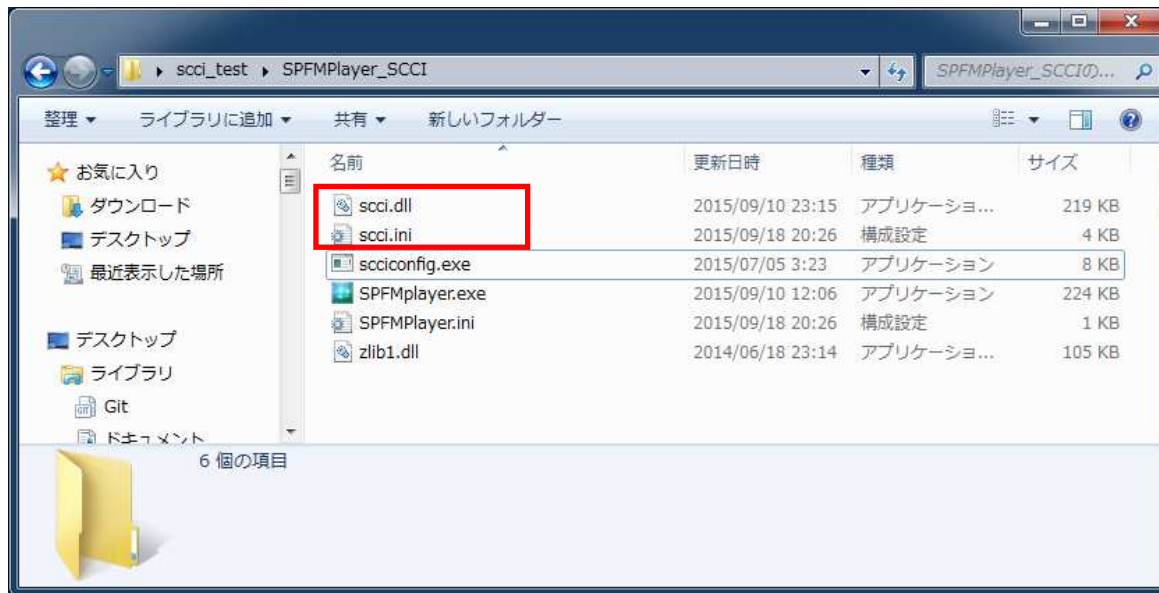
1. モジュールの設定(4／4)

- ⑤モジュールの選択及びクロックの設定完了後に「OK」ボタンを押下すると設定完了です。



2. scciの使い方

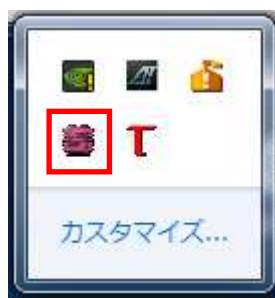
- scci.dll及びscci.iniを、対応ソフトと同じフォルダに入れ、対応ソフトを起動するだけです。



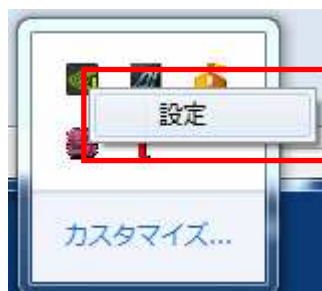
3. 遅延時間の設定(1／3)

- scciでは、FM音源の発音を遅延させる機能を搭載しています。x68sound.dll等を使い再生を行う場合、PCMとFM音源の発音時間のずれが発生するため、発音タイミングを合わせるときに設定します。

3. 遅延時間の設定(2／3)

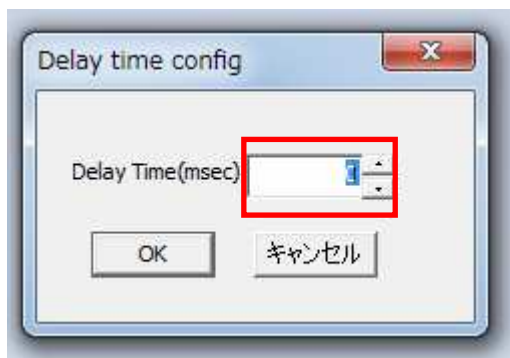


①タスクトレイアイコンを右クリックします。



②表示されたポップアップメニューの設定をクリックします。

3. 遅延時間の設定(3／3)



③遅延時間設定画面で遅延する時間をms単位で設定します。



④遅延時間を設定したら、OKボタンを押下すると、設定完了です。※

※遅延時間の設定は、scciの動作中に設定を行います。
設定された遅延時間はOKボタンを押下したタイミングで反映されます。

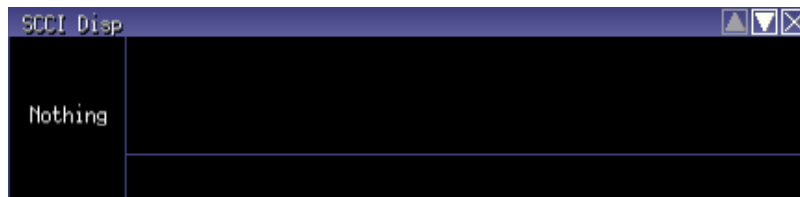
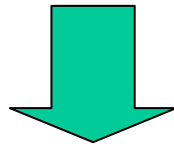
4. SCCI Dispの表示(1／3)

- ・ scciには、現在利用している各音源の発音状況を表示する機能が搭載されています。
- ・ ユーザの操作により、表示／非表示できます。また、対応ソフトはソフト側からの表示制御が行えます。

4. SCCI Dispの表示(2／3)

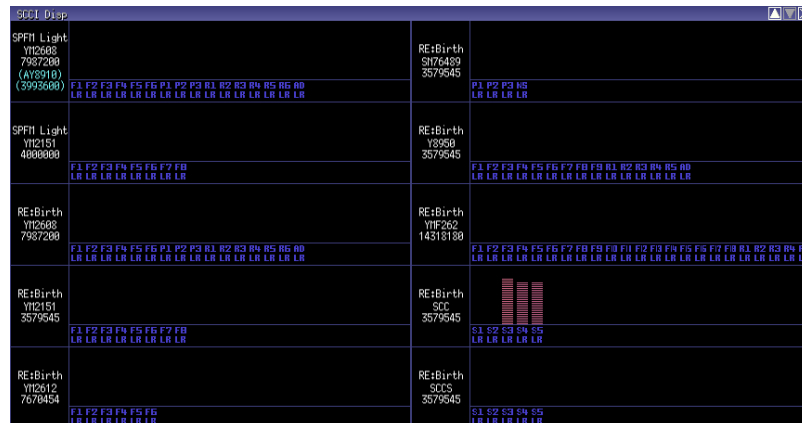
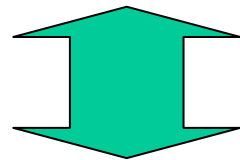
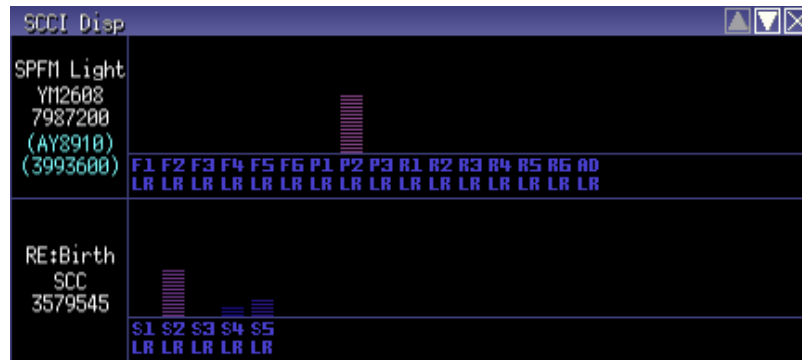


・タスクトレイのscciアイコンをダブルクリックすると表示／非表示ができます。



※音源が未使用の状態では「Nothing」が表示されます。

4. SCCI Dispの表示(3／3)



- ・初期表示状態より「▼」ボタンを押下すると、認識している全モジュールが表示されます。

また、全モジュールが表示されている状態で「▲」ボタンを押下することで、利用中のモジュールのみ表示されます。

- ・「×」ボタンを押下することで、SCCI Dispが閉じられます。